

都市下水路 一部供用開始へ

土木費 4億6916万4千円
(+8470万2千円)

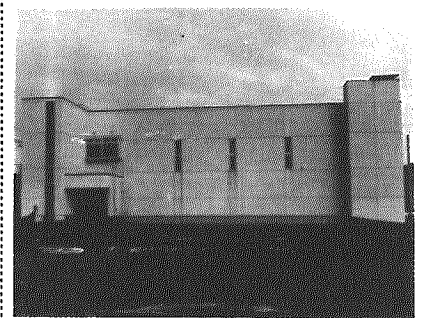
道と排水は町づくりの基本となるべきものです。今年度も引き続き町道整備、排水事業を推進します。町道改良舗装工事費は昨年と同額ですが、新町道の用地買収費に4472万円(+1000万円)計上しました。排水事業では、大野2号幹線函渠工事とポンプ場の機械設備を整え、7月を目途に一部供用を開始する予定です。また、新しく大明団地排水路、大仙坊排水路を改修し、金巻下江、寺地団地前水路の床掘削をして整備します。都市下水路費は前年度より約7100万円増額です。

・道路や橋の維持管理など 4068万2千円
・町道改良舗装工事費 7700万円
(改良舗装路線)

鳥原3号線、寺地村中線、立仏14号線、木場上組線、鳥原新田1号線、鳥原新地1号線、柳作4号線、金巻1号線、木場砂原5号線、善久保育所線、黒鳥30号線、小平方6号線、立仏17号線、鳥原5号線、鳥原新田3号線、焼酎団地線、山田13号線、山田14号線、興野3号線、寺地歩道、鳥原前川原1号線、寺地善久線、高速側道5号線

・町道拡幅用地買収費 4472万2千円
・県道改良工事負担金 1100万円
・都市下水路費 2億7673万7千円

(前川原ポンプ場、前川原幹線水路工
事、函渠取付工事、大明団地排水路、
大仙坊水路、寺地団地前排水路、金
巻下江 工事費 2億4880万円)
・公園事業費 19万5千円



ポンプ場いよいよ稼働

黒崎中校舎を増築

旧黒崎高用地買収

教育費 2億9911万7千円
(-3157万5千円)

町づくりはまず人づくりです。小、中学校教育はもとより、社会教育、生涯教育、スポーツ・文化の振興を図ります。

学校関係では、生徒増が進む黒崎中学校の校舎を増築します。木場小学校のプール浄化槽機械取替工事を予定しています。旧黒崎高校用地を中学グラウンドとして購入(継続事業)します。

社会教育関係では、社会体育指導員の増員、活動団体の育成、学校体育館の開放、各種大会開催に努めます。公民館での各種講座も今までに増して皆さんのニーズに対応していきます。青少年育成町民会議を中心に健全育成に努めます。

・教育委員会費 1414万1千円
(私学補助金140万円、黒崎高振興会補助金125万円、奨学生貸付金120万円)

・小学校費 6886万3千円
(学校補修、光熱、備品購入など)

・中学校費 1億4350万円
(旧黒崎高校用地買収費1400万円、学校建設費 1億436万円)

・社会教育総務費 600万6千円
(各種委員、各種講座講師料、体育協会などへの補助金など)

・公民館費 1087万2千円
・文化財保護費 215万7千円
・青少年問題対策費 156万3千円
・図書館費 713万3千円
(図書購入費 200万円)

・社会体育費 2179万5千円
(体育館、野球場の維持管理、各種大会への補助など)

・学校給食費 2164万8千円

議会費 7352万9千円
(-258万3千円)

議員報酬は前年度と同じ(据え置き)

です。

- ・議員報酬(23人) 4424万4千円
- ・議員期末手当など 1401万1千円
- ・共済費 453万9千円
- ・調査、研修など旅費 539万円
- ・議長交際費 50万円
- ・会議録調整委託料 211万7千円



労働費 507万8千円
(-1千円)

・失対労働者補助金 490万8千円

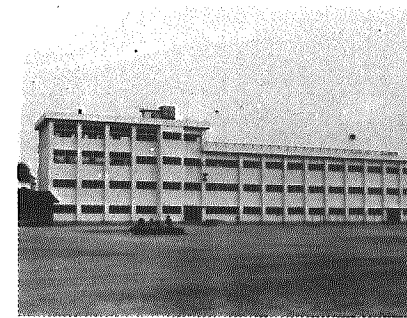
公債費 4億1415万1千円
(+837万7千円)

町債(町の借金・総額32億7457万円)の返済のこと。

- ・元金(町債償還金73件分) 1億8582万4千円
- ・利子 2億2812万4千円
- (町債償還金利子95件分 2億2612万4千円)

災害復旧費 50万円
(±0円)

予備費 1356万1千円
(+356万1千円)



黒崎中校舎増築に1億円

特別会計

各会計の予算

()は前年度比

- 国民健康保険 9億2602万4千円 (+13.4%)
- 老人保険 8億9028万8千円 (+18.1%)
- 水道事業(支出) 4億4289万2千円 (-3.2%)
- ガス事業(支出) 6億5338万5千円 (-2.9%)
- 農業共済清算計画予算*8981万7千円

*農業共済事業は61年度から燕市、巻町などと広域合併するため、清算計画予算を組みました(関連記事9ページ)。

国民健康保険

歳入歳出とも9億2602万4千円、前年度比13%の増。

財源は国民健康保険税4億5173万9千円、国庫支出金3億8160万3千円、その他(交付金繰入金、諸収入)9368万4千円。主な歳出は保険給付費6億2148万円、老人保健拠出金2億6423万円です。

(国保財政は国庫補助率の低下(医療費への補助45%が38.5%)に、医療費の伸びなどで厳しい局面です。今年度は助産費補助金の増額(10万円を13万円に)、人間ドックの助成、健康づくり事業を行います。また、保険料は低所得者の負担を押しさえようと賦課方式の変更を検討中。

老人保健

歳入歳出とも8億9028万8千円、前年度比18%の増。

財源は支払基金交付金6億1903万4千円、国庫支出金1億7628万8千円、県支出金4407万2千円、一般会計繰入金5088万8千円。歳出のほとんどは医療費(8億8346万6千円)。59年度決算では対象者は1257人で1人当たりの平均医療費は51万8296万円(県平均36万6400円)で県内最高です。このため一般会計から約5千万円繰入れています。

老人保健は深刻な財政危機に見舞われています。国では老人保健法の改正を検討中です。

水道事業

今年度も安定供給と施設の維持管理に重点を置きます。給水戸数は6581戸、給水量を3022立方メートルと見込んでいます。

収益的収入(水道料金など)は4億750万円、収益的支出は3億4585万円を予定しています。この差額は企業債(借金総額13億732万円)の償還、給送配・給水設備の改良、新設にあてられます。

資本的収入は155万6千円、資本的支出は9704万6千円で差額は損益勘定留保資金、建設改良積立金で補てんします。支出の内訳は配水管の改良工事など建設改良費が7358万5千円、企業債償還金2346万1千円などです。

ガス事業

原料ガスの購入単価は前年度に引き続き据え置かれます。供給戸数は5966戸、供給量633万8千立方メートルと見込んでいます。

収益的収入(ガス料金)は5億5738万7千円、収益的支出は5738万7千円、収益的支出はガスホルダーの開放検査、ガス導管図作成費など5億5728万9千円を予定しています。

資本的収入は5020万円、資本的支出は9609万6千円を見積もり、不足分は当年度分損益勘定留保資金で補てんします。支出の内訳は建設改良費6763万円、企業債償還金2846万6千円を計上しています。ガスの企業債は総額4億2889万円あります。

収入役に鷺尾氏、教育長に宮田氏が就任

三月議会

町議会三月定例会最終日二十四日に、収入役選任案と教育委員会委員長任命案が上程され、議会は全会一致で同意しました。これにより、

昨年二月から空席だった収入役に鷺尾忠資氏が就任し、十月から欠員だった教育委員会委員に宮田兼好氏が任命されました。

教育委員会は三月二十四日、昨年十月から空席だった教育長に同

日議会で任命された宮田兼好氏を教育長に互選しました。

鷺尾氏の収入役就任は四月一日宮田氏の教育長就任は四月二日です。(両氏のあいさつは次号で掲載します)。

【鷺尾忠資氏略歴】



53歳 黒鳥5055~1

昭和二十六年黒崎村役場に奉職、

農業委員会に勤務、企画調整課などを経て産業課長、農政課長を歴任。

【宮田兼好氏略歴】



53歳 鳥原2233~1

昭和四十年黒崎中勤務以後亀田中、新潟市立関屋中、上山中など教諭(英語、社会担当)。県陸上競技協会総務部長。慶応大学卒。

短 信

1/15~2/28

- 1月20日 産業振興会(商工)
- 22日 黒崎祭り実行委員会(商工)
- 22日 議会全員協議会
- 24日 民生委員協議会(住民)
- 25日 予算査定(総務)
- 27日 農業委員会
- 30日 国保運営協議会
- 31日 行革推進委員会(総務)
- 2月1日 選挙管理委員会
- 2月1日 定例課長会議
- 5日 予算査定、保育所運営委員会、商工振興審議会
- 7日 総合計画策定課長会議
- 10日 農地あつせん会議
- 12日 特別報酬等審議会
- 14日 農業振興地域整備促進協議会
- 15日 総合企画審議会
- 18日 主任保母会議
- 20日 行革会議
- 21日 外環状線調査説明会
- 22日 特別報酬等審議会
- 22日 新幹線側道会議
- 24日 吉田町がOA視察来町
- 25日 球根組合役員会
- 26日 郵政省監査
- 27日 農業委員会
- 28日 黒崎祭り行事運営委員会、議会運営委員会、国保運営協議会